



連載 レッスンのお悩み、一緒に考えます！

聞いて！まるみえ先生

ほこあほこピアノ教室主宰 中西美江

今回のお悩みは…

大人の方の指導に 不安があります・・・

お悩み内容

ここ数年、大人の方の入会問い合わせが増えてきています。これまではほぼ子どもだけにレッスンしてきたので、大人の方を教えることに不安があります。アドバイスをいただけましたらありがたく存じます。 (R. I 先生)

大人の方のレッスン、不安を感じるのは自然なことだと思います。これまでお子さん中心で教えてこられた先生にとって、「大人の生徒さんを教える」と聞くと、構えたくなるお気持ちはとてもよく分かります。

- 子どもと違って素直に反応してくれないかも？
- 練習時間が少ないのでは？
- 上達がゆっくりなのは？

……そんな心配、私も最初にはありました。でも、実際にお会いすると、大人の生徒さんは“音楽への憧れ”と“自分の時間を大切にしたい”という想いを持って来られる方がほとんどです。そして、その想いに寄り添えるのは、“子どもさんに対して丁寧に寄り添ってきた先生”だからこそだと思います。

大人の方のレッスンで意識したい、 3つのポイント

① 「共感」と「承認」

大人の方は、自分を評価されるよりも「共感されたい」「理解されたい」という気持ちが強いです。

たとえば、「今日はゆっくり丁寧に音を聴けていましたね」「このフレーズ、すごく優しい響きですね」といった言葉がモチベーションになりますので、上達よりも“心地よくピアノと向き合える時間”を提供することが大切です。

例えば……今練習している作曲家、時代背景、作品の由来、さらには、ピアノの歴史を辿るお話や楽典のお話など、単にピアノ演奏の上達だけを目的とするのではなく、「この時間そのものが自分にとって豊かな時間なのだ」と生徒さんに感じて頂けることが「大人のピアノレッスン」の醍醐味だと思っています。

② 「目的の多様さ」を認める

大人の方がピアノを始める目的は本当にさまざま。

- 子どものころの夢をもう一度
- ストレス発散
- 指を動かして脳トレ
- 発表会で1曲弾けたら嬉しい

など、「成果よりも、過程を楽しみたい」という方も多いです。目標を共有し、「その人にとっての満足」を一緒に探す姿勢が大切です。

③ 「安心感 × 自己肯定感」を育てる

子どもに限らず、大人も「できた！」という感覚は嬉しいものです。「前より音がきれいになった」「ここが滑らかに弾けた」など、レッスンの中で小さな成長を一緒に喜ぶ時間をつくりましょう。

大人の方は「焦り」もたくさんお持ちです。だからこそ、小さな成長をご自身でしっかりと実感していただくこと、先生の感じた「成長」をしっかりと伝えることが大人のレッスンでは大切な要素です。

まるみえ先生からの一言

私自身、大人のピアノレッスンを始めて30年以上経ちました。昔も今も、自分より「年上」の方をレッスンすることが多いので「言葉の使い方」「接し方」に一番気を使っています。こちらの立場は「先生」であっても、人生経験豊富な方に対して接する時には「尊敬の念」を持つこと、そして「自分の知らない経験のお話をしっかりと聴く姿勢」が大事だと思います。こちらのそういう姿勢はきっと相手にも伝わります。

“目には見えない気持ちのつながり”が、大人のピアノレッスンには不可欠です。ご自身の今までの音楽経験を活かして、ピアノレッスンが「自分(生徒さん)にとっての上質な時間」に感じて頂けるような空間を意識して作られると良いと思います。